



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

人のために生きる

校長 永浜 裕之

太平洋戦争が終結して75年の歳月が流れました。ポツダム宣言を受諾して終戦を迎えた日が8月15日ということもあり、毎年8月になると、先の大戦に係る報道を目にすることが多くなる気がします。

私にとって夏は、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、あらためて考えを深める時期です。また、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からかかいませんでしたが、夏は、太平洋戦争当時、日本陸軍の飛行場があった鹿児島県の知覧を訪れる季節でもあります。

知覧は、特別攻撃隊、いわゆる神風特攻隊が出撃をしていった場所です。日本各地から特攻を行う戦闘機は出撃していますが、知覧は最も多くの若者が出撃し、そして亡くなった場所です。20歳前後の若者を中心に、片道の燃料しか積まず、敵の空母や戦艦に戦闘機を体当たりして沈め、そのことにより、国を守るために出撃していきました。知覧基地から出撃した零戦を主とする戦闘機は、薩摩富士と呼ばれる開聞岳を見て翼を振り、本土に別れを告げて沖縄方面に向かっていったそうです。

私は東京都葛飾区で生まれ育ちましたが、父親は鹿児島県出身で、親戚にも戦没者が少なからずいて、東京大空襲を含め、小さい時から頻りに太平洋戦争の話が聞かされて育ちました。小学生の頃には、上野公園で、復員兵がゴザの上で土下座をして物乞いをしたり、アコーディオンを弾きながらお金を求めたりしている姿も目にしています。

先の大戦では、軍人、軍属の230万人、一般市民の80万人、合計約310万人もの日本人が亡くなりました。その犠牲のもとに、今の平和があるといっても過言ではないのかもしれませんが、もちろん、外国の方も多くが亡くなり、そのことも忘れてはなりません。気になるのは、戦争によって多くの日本人が大変な苦勞をしましたが、もし、日本が戦勝国となっていたら、今の平和はあるのかという点です。一人の命さえ尊いというのに、争いは看過できません。

さて、「知覧特攻平和会館」に出向けば、出撃する兵士が、両親や妻、自分の子供や兄弟、知人等に宛てた手紙を読むことができます。手紙には、これまでの感謝や、残される人々が幸福になることを願うという事、家族や日本のためなら喜んで命を捧げるといった事などが書かれています。

私は知覧を訪れるたびに、「戦争を繰り返してはいけない、世界中の人々が仲良くしなければならない。」という思いを強くするとともに、彼らの自己犠牲の精神に心を打たれます。自分が犠牲になることで戦争を終わらせ、国を救い、家族を救いたいという精神の崇高さに心を打たれるのです。

また、訪問のたびに、現在の日本や、私たちの生き方について考えます。

私たちの多くは、自分の利益ばかり考え、生きているのではないか？

自分がよければ、周りの人はどうでもよいと考えていないか？

彼らが命をかけて守ろうとしたものを、私たちは壊してしまったのではないか？

彼らが今の日本を見たら、何と思うのだろうか？

など、色々と考えます。

私たちは、世界中の人々と仲良くして、また、自分のことを思う以上に、他の人への思いやりの心をもって、生活すべきであると考えます。

戦前の反省から、いわゆる個人主義が尊重されてきました。自分さえよければそれでよいという、誤った個人主義が蔓延している気がします。物質的な豊かさとは裏腹に、精神的に貧しくなっていないでしょうか。人の悪口を言ったり、嫌がることをしたりしていないでしょうか。「思いやり」の心を忘れずに生活していきましょう。

専門学科「情報科」を設置している高校は全国で18校あり、東京では、新宿山吹高校に唯一設置されています。

一年に一度、これらの学校が集まり、生徒や教員が研究発表を行う、令和2年度全国専門学科「情報科」研究協議会が、8月17日（月）に開催されました。

今年度は沖縄、来年度は東京（本校）で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年ずつ延期され、今年度はオンラインでの実施となり、来年度は沖縄、令和4年度は、本校を会場として開催する予定です。

当日は、オンライン会議システムを活用し、各校から休校状況やオンライン学習ツールの活用についての報告、生徒研究発表、教員研究発表、最後に文部科学省 鹿野教科調査官から講評・講話がありました。

生徒研究発表では、香川県立坂出商業高等学校と香川県立高松商業高等学校の2校から発表がありました。坂出商業高校からは、「ソースコードから盗まれた情報で不正にアクセスされる問題を解決するデータベースセキュリティ」「料理の写真からカロリーや栄養を判定するAI（Pythonプログラム）について」「迷路を最短経路でゴールに導くための強化学習アルゴリズム」の発表がありました。高松商業高校からは、「マイクロコンピュータを使った自動かん水装置について」「加速度センサを取り付けた人の行動から落ちつき度や集中力を可視化する」「地球から静止衛星までをエレベーターでつなぐ構想をレゴブロックのロボットで制作する宇宙エレベーター」の発表がありました。どちらの学校もオンラインで慣れない様子もありましたが、堂々と発表していました。

教員発表は、新宿山吹高校から、「学び続ける情報技術者を目指して」というタイトルで、昨年度まで3年間実施した文部科学省SPH（スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール）事業の報告を行いました。画面越しでしたが、他校の先生方が熱心に耳を傾けてくれている様子が伺えました。発表したことを紹介します。

「本校には、自分で時間割を作成する主体性を育む環境があり、SPH活動についても生徒の多様な興味・関心に対応するため、専門科目、総合的な探究の時間、東京都設定教科「人間と社会」、課外活動に様々な取組を用意し、個別最適化された学びができるようにしました。」

「SPHでは、多くの方々（企業や大学、地域から100名近く）にご協力いただきました。（中略）高校生がキラキラした大人とつながるのは本当に良い学びだと思います。」

「学びの記録や振り返りは、最も成果があった取組と考えています。（中略）他者と比較するための評価ではなく、生徒一人一人が成長を実感することのできる取組だと感じました。」

SPH事業は終了しましたが、3年間の経験から「自ら選択する主体的な学び」「社会とつながった実践的な学び」「学びを自己評価し、新たな学びへつなげる」という3つの柱が大きな財産となりました。情報科はこれからも「情報技術を使って活躍する」そんな人材を育てていきたいと考えています。

専門学科「情報科」を設置する高等学校



定時制課程 学校行事予定	通信制課程 学校行事予定
8月24日（月）授業開始	
9月11日（金）自己探索学習④	9月5日（土）スクーリング 1-11
17日（木）前期末考査時程等発表	12日（土）スクーリング 1-12
19日（土）開校記念日	19日（土）前期試験①
21日（月）敬老の日	21日（月）敬老の日
22日（火）秋分の日	22日（火）秋分の日
24日（木）～30日（水）前期末考査	26日（土）前期試験②
10月1日（木）都民の日（閉庁日）	10月1日（木）都民の日（閉庁日）
	10日（土）スクーリング 2-1